



日本の力を、世界のために。

Supporting Your Global Challenges

2017年度業務概況

2018年7月
株式会社国際協力銀行

1. 出融資・保証業務の状況（承諾）

2. 分野別ハイライト

（1）資源の海外における開発及び取得の促進への取り組み

（2）産業の国際競争力の維持及び向上への取り組み

①日本企業の海外インフラ事業展開を支援

②日本企業の戦略的な海外事業活動を支援

③中堅・中小企業の海外事業展開を支援

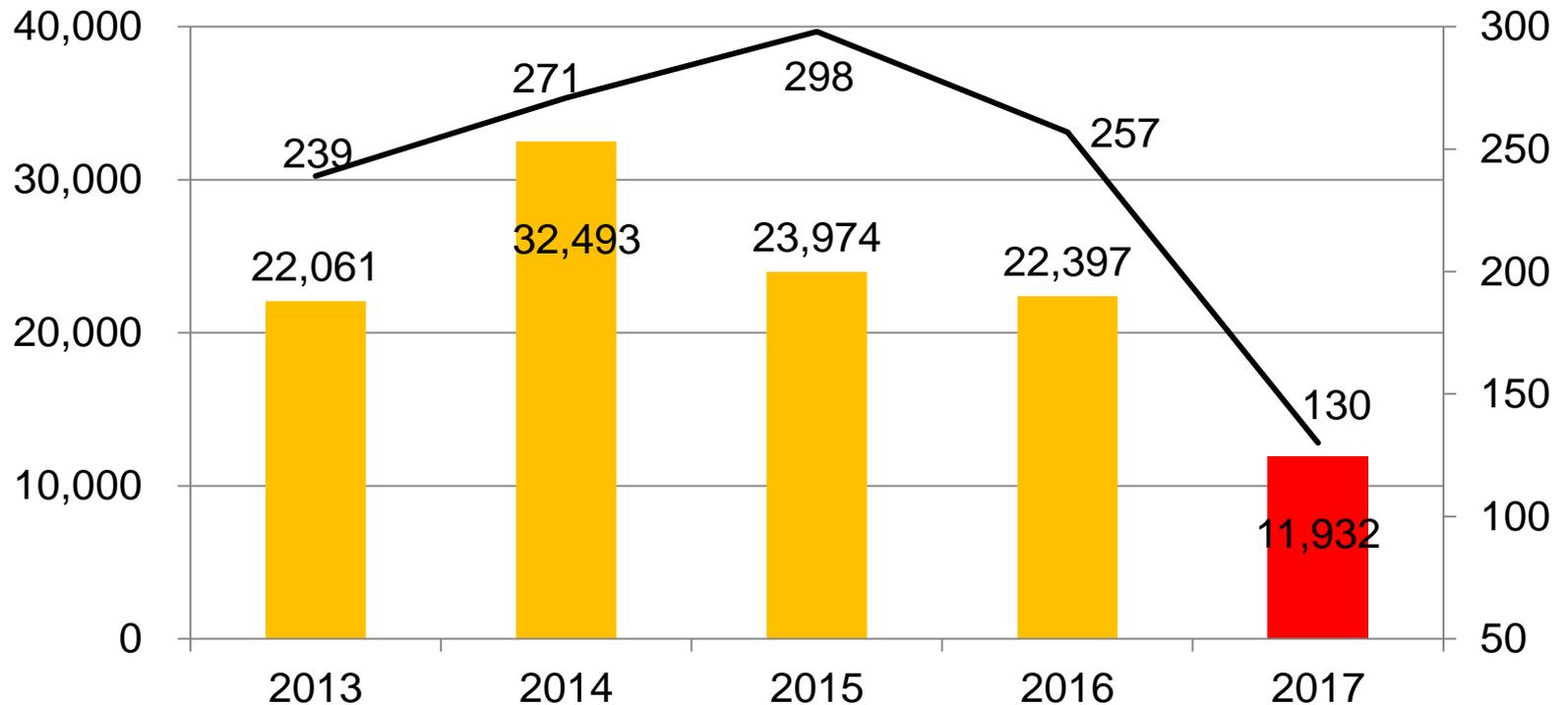
1. 出融資・保証業務の状況（承諾）

2017年度の出融資・保証承諾実績は、130件・1兆1,932億円。

承諾額は、前年度（2016年度）の大型案件承諾からの反動もあり、前年度同期間比46.7%減。
承諾件数は、外的要因に基づくM&A及び中堅・中小企業向け融資等の減少により、前年度比127件減。

出融資保証承諾額・件数

【通期：2013年度～2017年度】



ミッション別出融資・保証承諾実績
資源：9件・4,946億円
国際競争力：120件・6,824億円

2. 分野別ハイライト (1) 資源の海外における開発及び取得の促進への取り組み

日本の需要家のニーズに応じ、事業・国・地域レベルでの重層的な取組を実施

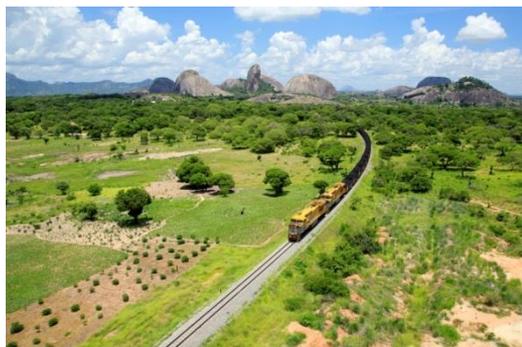
モザンビーク/マラウイ・ナカラ鉄道・港湾事業(2017/11)

✓ JBIC融資承諾額：10.3億ドル

✓ 三井物産と伯・Vale社が鉱山権益を持つモザンビークの製鉄用石炭を内陸から運搬・輸出するための鉄道・港湾インフラ整備



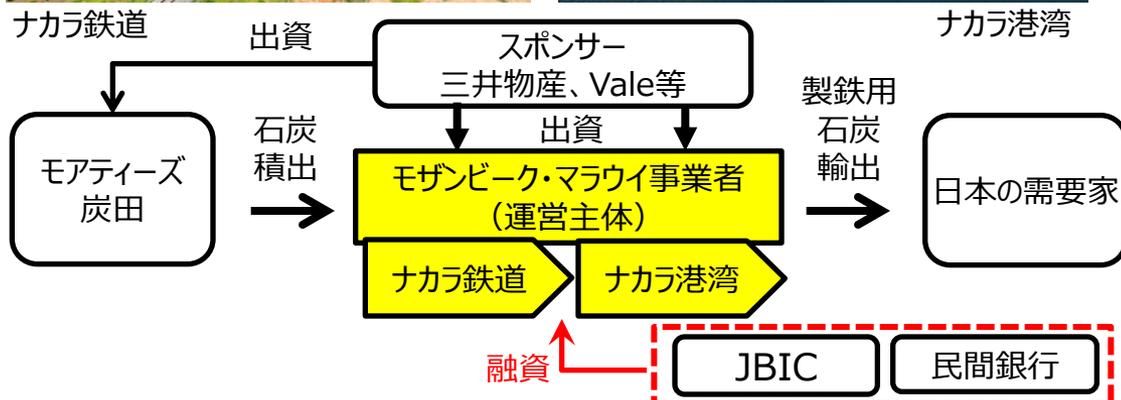
(出典) 三井物産IR資料



ナカラ鉄道



ナカラ港湾



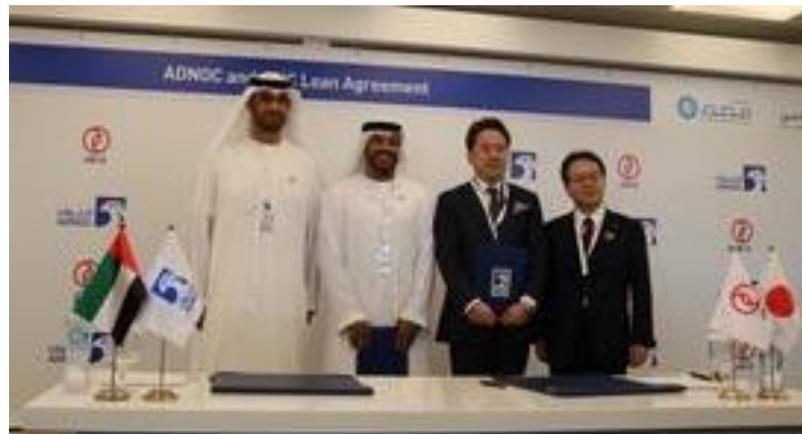
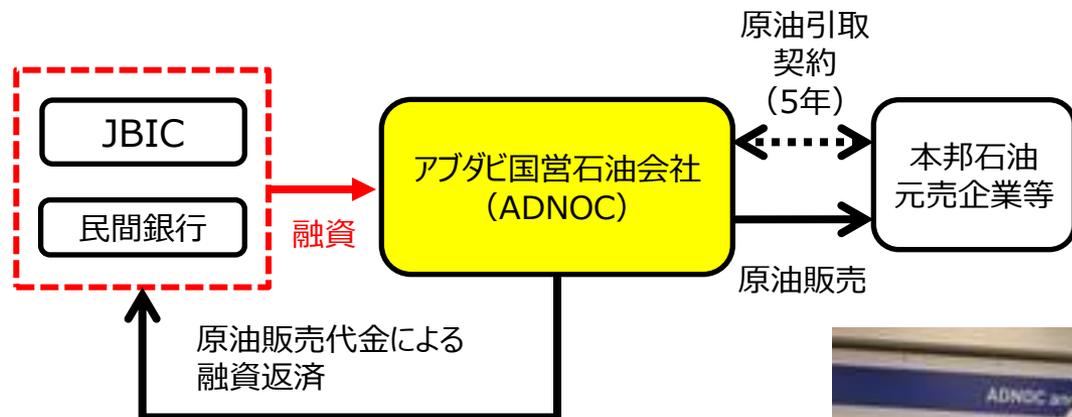
案件意義

- ① JBICとして過去最大額のアフリカ向け融資、初の鉄道インフラ/港湾事業向けプロジェクトファイナンス
- ② 日本の製鉄用石炭の供給源の多様化・資源安定確保に貢献
- ③ 2か国を跨がるクロスボーダー交通インフラ (広域開発) に貢献

2. 分野別ハイライト (1) 資源の海外における開発及び取得の促進への取り組み

アブダビ・国営石油会社(ADNOC)向け融資(2018/1)

- ✓ JBIC融資承諾額：21億ドル
- ✓ 日本企業が原油を安定的に輸入するために必要な資金を国営石油会社向け(ADNOC)に融資するもの



ADNOCとの融資契約調印式

(出典) METI HP

案件意義

- ① アブダビの国営石油会社であるADNOCとの継続的な協力関係強化（5回目の融資）。
- ② アブダビとの戦略的関係強化により、日本企業が現地に有する油田権益更新に向けた動きを側面支援

・2018年に入り油田権益の新権益保有者が順次公表。日本からは、**ADMA-1鉱区**（日量約45万バレルの生産量を誇る世界的に有名な大油田）につき**JODCO（国際石油開発帝石株（INPEX）100%子会社）が10%の権益を獲得（権益期限は2058年（40年間））**。中・印や資源メジャーとの競合の中、**官民一体となった資源外交の取り組みが結実。**

2. 分野別ハイライト（2）産業の国際競争力の維持及び向上への取り組み

① 日本企業の海外インフラ事業展開を支援

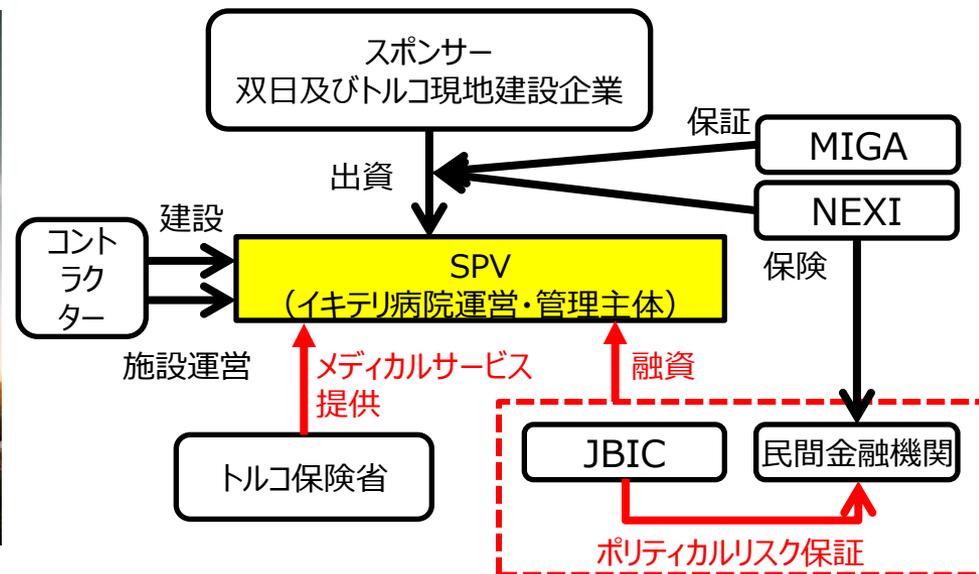
初期段階からのバンクブルな案件形成を支援し、日本企業のフロンティア開拓に貢献

トルコ・病院PPP事業に対するプロジェクトファイナンス及びポリティカル・リスク保証(2017/7)

- ✓ JBIC融資承諾額：約813億円
- ✓ 双日及びトルコ現地建設会社の共同事業
- ✓ トルコ最大規模の総合病院（病床数：2,682床）となるイキテリ病院を建設し、同病院でトルコ保健省が医療サービスを提供するのに対して、同病院施設の運営・管理事業をPPP形式で実施するもの



(出典) 双日資料



案件意義

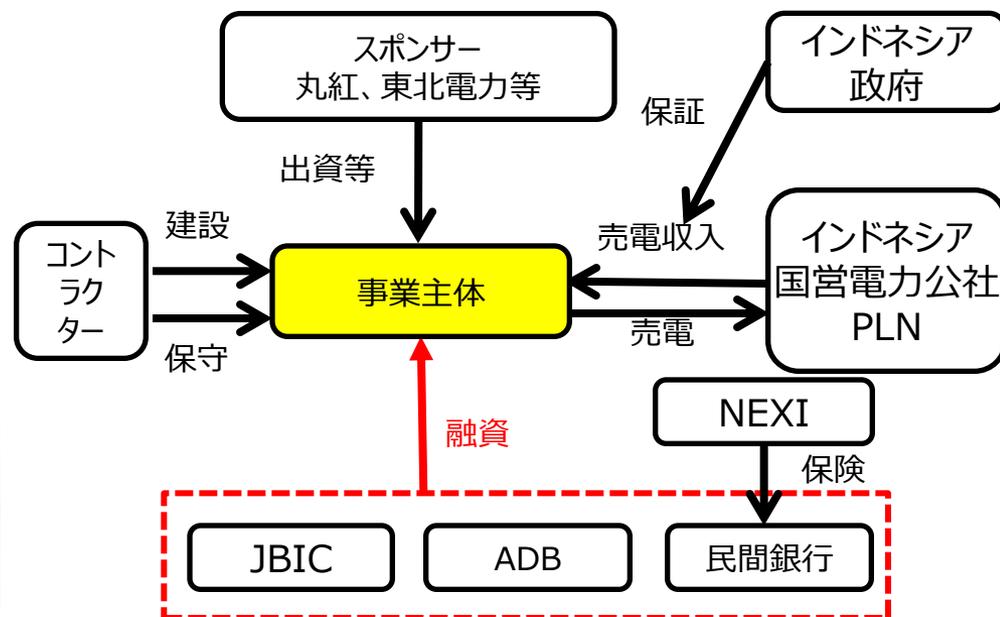
- ① 日本企業として初めてのPPP（官民連携）による海外での病院運営・管理事業
- ② 政府の成長戦略にも盛り込まれた「医療・介護分野の国際展開」を金融面から後押し
- ③ トルコでもJBICが持つ現地政府とのチャンネルを活かし、長期プロジェクトの安定化に寄与

2. 分野別ハイライト（2）産業の国際競争力の維持及び向上への取り組み

① 日本企業の海外インフラ事業展開を支援

インドネシア・ランタウデダップ地熱発電事業に対するプロジェクトファイナンス（2018/3）

- ✓ JBIC融資承諾額：約189百万米ドル。協調融資額約351百万米ドル。
- ✓ 丸紅及び東北電力の事業（東北電力としては初の海外地熱発電事業への参画）。
- ✓ インドネシア南スマトラ州において、出力計98.4MWの地熱発電所を建設・所有・操業し、商業運転開始後30年にわたり、インドネシア国営電力公社PLNに売電。



案件意義

- ① CO2排出削減に向け、電源開発計画において再生可能エネルギーを優先させることを掲げているインドネシアにおける取組の支援。
- ② スポンサーに丸紅、東北電力、EPCコントラクターに富士電機（発電タービン、発電機等の供給）、銀行団にJBIC、NEXIを有するAll-Japanでの案件組成。
- ③ 日本政府のインフラシステム輸出等の施策との合致。

2. 分野別ハイライト（2）産業の国際競争力の維持及び向上への取り組み

②日本企業の戦略的な海外事業活動を支援

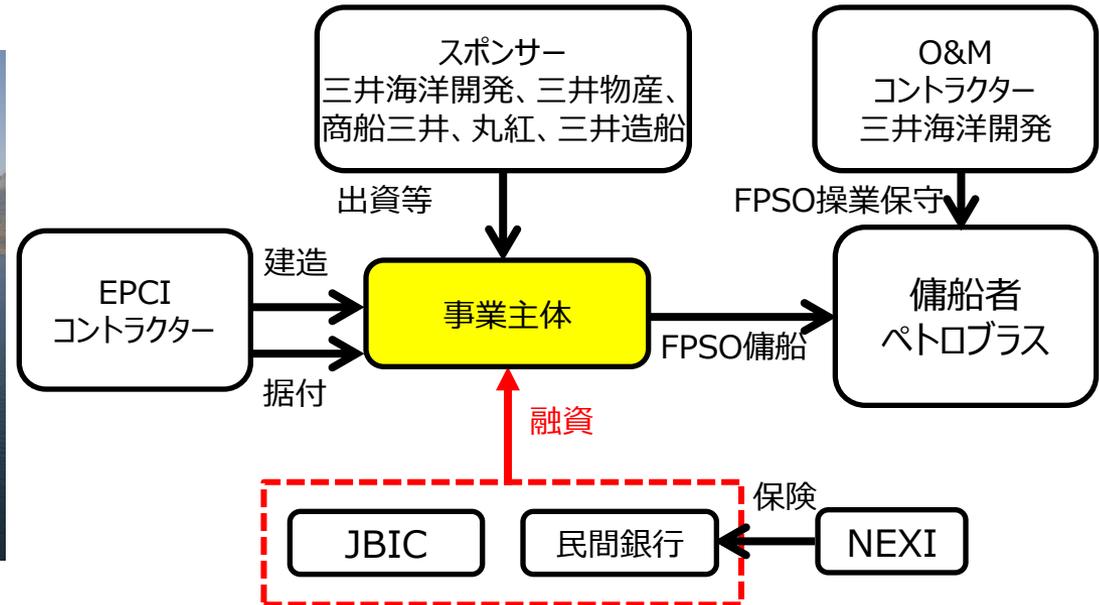
海底油田開発用の船舶（FPSO）傭船事業の3年ぶりの実現を支援

ブラジル・FPSO傭船事業に対するプロジェクトファイナンス（2018/3）

- ✓ JBIC融資承諾額：約492百万米ドル。協調融資額約987百万米ドル。
- ✓ 三井海洋開発、三井物産、商船三井、丸紅及び三井造船の事業。
- ✓ ブラジルのリオデジャネイロ州沖合南東約250kmに位置するSantos盆地プレソルト層のSepia油田において、最大21年間に亘り、ブラジル国営石油公社（ペトロbras）に対してFPSO傭船サービス（リース及び運転・保守点検等）を提供。



画像提供：三井海洋開発(株)
本FPSOと同型のもの



案件意義

- ① 三井海洋開発(株)の約3年ぶりのペトロbras向けFPSO傭船事業受注案件への支援。
- ② 我が国唯一のFPSO事業者たる三井海洋開発(株)の国際競争力維持・強化を支援。
- ③ 日本の資源の確保・安定供給にも間接的・将来的に寄与

2. 分野別ハイライト（2）産業の国際競争力の維持及び向上への取り組み

③中堅・中小企業の海外事業展開を支援

支援ニーズのあるセクターが広がりつつある

（従来型の自動車や機械部品製造等に加え、食品製造や小売り関連も）

ミャンマー・ブロイラー食肉加工・販売事業支援(2018/3)

- ✓ JBIC融資承諾額：1,701千米ドル
- ✓ エビス商事（宮崎県）が出資するミャンマー現法を設立するために必要な資金を融資。
- ✓ 高品質なブロイラー食肉の生産・加工・流通システムを海外展開し、東南アジア市場への新規参入・シェア獲得を企図。
- ✓ 日本政府が掲げる「グローバル・フードバリューチェーン戦略」（2014年6月6日）にも合致。



ベトナム・自動車の整備・販売事業支援(2018/3)

- ✓ JBIC融資承諾額：3百万米ドル
- ✓ トヨタカローラ南海（大阪府）が出資するベトナム現法の店舗設立及びメンテナンスラインの設置等に充てられる。
- ✓ 少子高齢化や「カーシェアリング」の普及で、国内自動車市場は先細りが予想される中、ベトナムでは昨年27万台の車が売れ、このうち約6割は日本車が占有。
- ✓ 当社の高度な技術やサービスが広まれば、日本車のさらなるシェア拡大が期待される。